

アネスシーヅヤ

# ANESTHESIA

DOJIN  
R18  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止



## —ケッコンカッコカリ—

—それは艦娘を強くするための、リミッター解除のようなもの。

—更に艦娘が強くなるためのシステムだった。

—だが、いつしかそれは、撤廃しなければならないシステムとなった。

—彼女たちは確かに強くなった。強くなったと同時に、“心”が変わっていった。

—戦いのために作られた、そんな磐石であろうはずの感情を一変させた。

—彼女たちにとっての幸せとは、何なのだろうか。

—答えは、自分で決めるしかない。

### 日記

— XXXX 年 XX 月 XX 日 —

—出撃もせず、淫らな生活を送り、ただ呆然としていた。

ふと気になったことがあった。

なぜだろうか。

主力となる我が艦隊がいなくてもここの鎮守府は危篤な状態にはならない。

ふと深海棲艦と戦っていた頃を思い出す。

『彼女たちは、迎撃しかしていない』と。

深海棲艦は何かを伝えたいのかもしれない。

出撃では無く、偵察として行こう。

—ああ

俺は何をしているのだろう。



ケツコンカッコリシステムだ。  
それが俺と艦娘との  
垣根を無くしてしまった。

—だが、これで良い。



出撃もせず、  
毎日情事に明け暮れて。  
理由は分かっている—



彼女たちも、  
そう思っているだろう。



そして

—それは



麻酔のように—

いつからか、  
放棄した提督の使命、



この心の痛覚に  
慣れてしまった。





どういうことだ…





・・・分からないでしょうね。

クワ

・・・

何故だ。

お前ほどの男が。



『こうなった原因は、あなたにもあるという』ことですよ。

総司令官は直接あの娘達と接することは無く、我々提督に指示を送るだけですからね。

クワ



ケツコンカッコカリというシステムを作った——

・・・何が言いたい？

！  
——あなたにもね。

ギョッ



—いや、今となってはどうでも良い。

もう、それで良い。



このシステムこそ



—ただ今は、  
彼女たちと一緒にいたい。

室 令 司

俺も、彼女たちも、  
それを望んで  
いるはずだから——

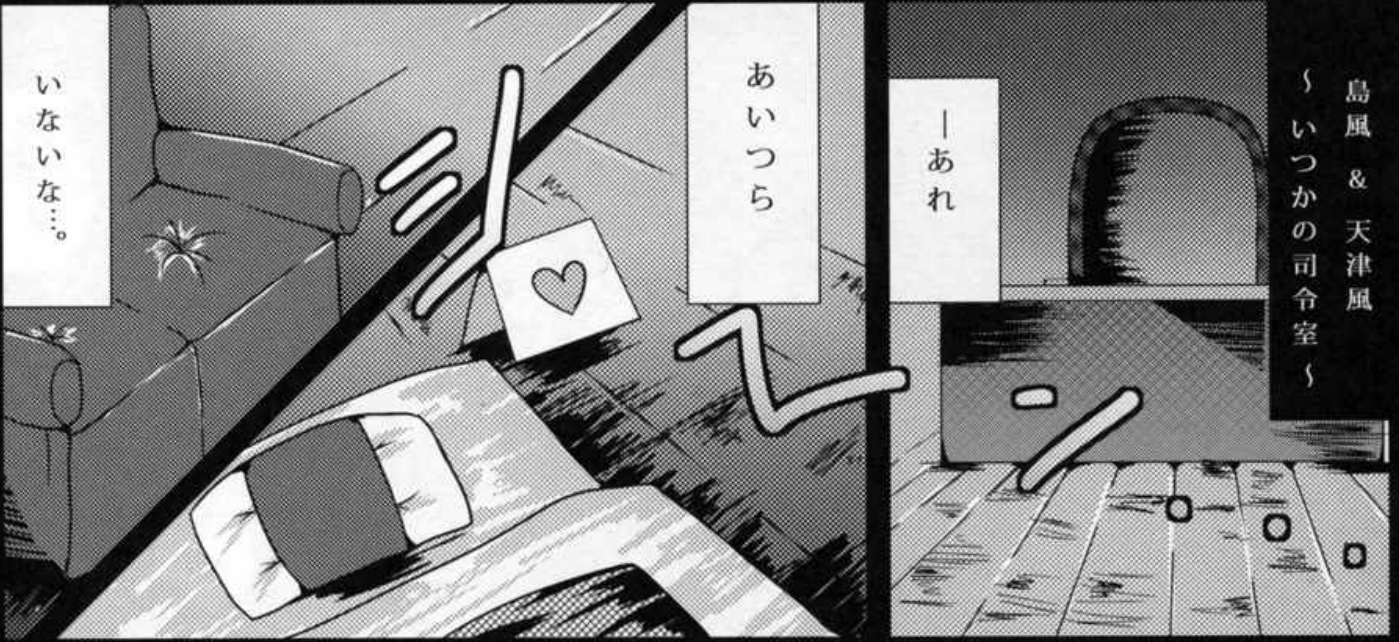


島風 & 天津風  
いつかの司令室

—あれ

あいつら

いないな…。



仕方ない。

後悔などしてない…。  
って、しつこいな俺は…。



もう寝よう。

—おやすみ





—あつ、島風  
ちゅんぽん



しゅんぽん



しゅんぽん



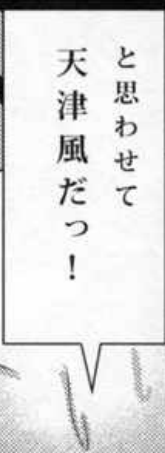
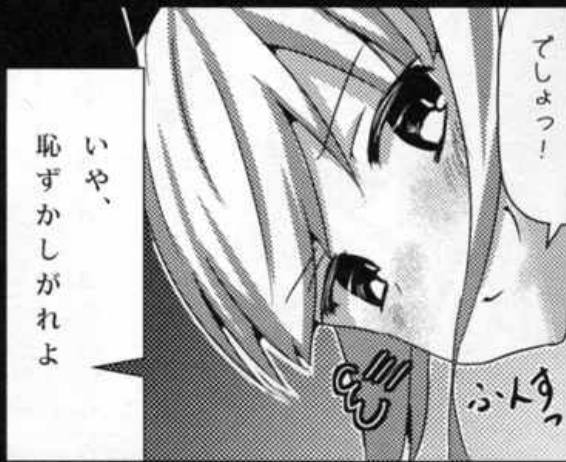
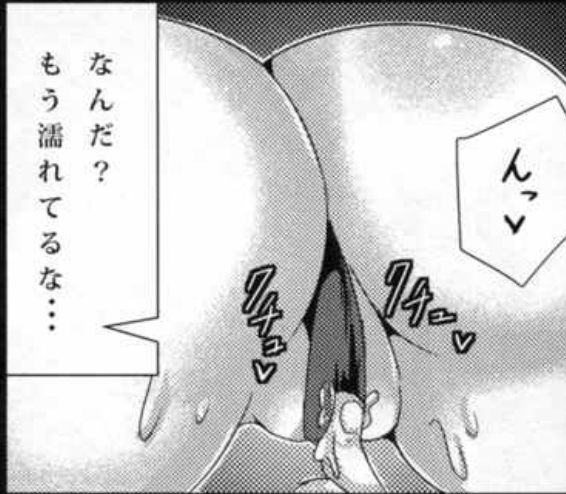
むっ  
か代わりなすいよ...

あふあふあへはあんふあほふおいほーつ  
—天津風ちゃんが遅いのーつ  
ちゅんぽん

—お、おい。  
何をやっているお前ら！  
しゅんぽん









そして鳥風のは…

いきなり、なんて  
ふわあつ！  
奥につ…

イイぞ天津風…！  
子宮が吸い付いて…  
くっ！



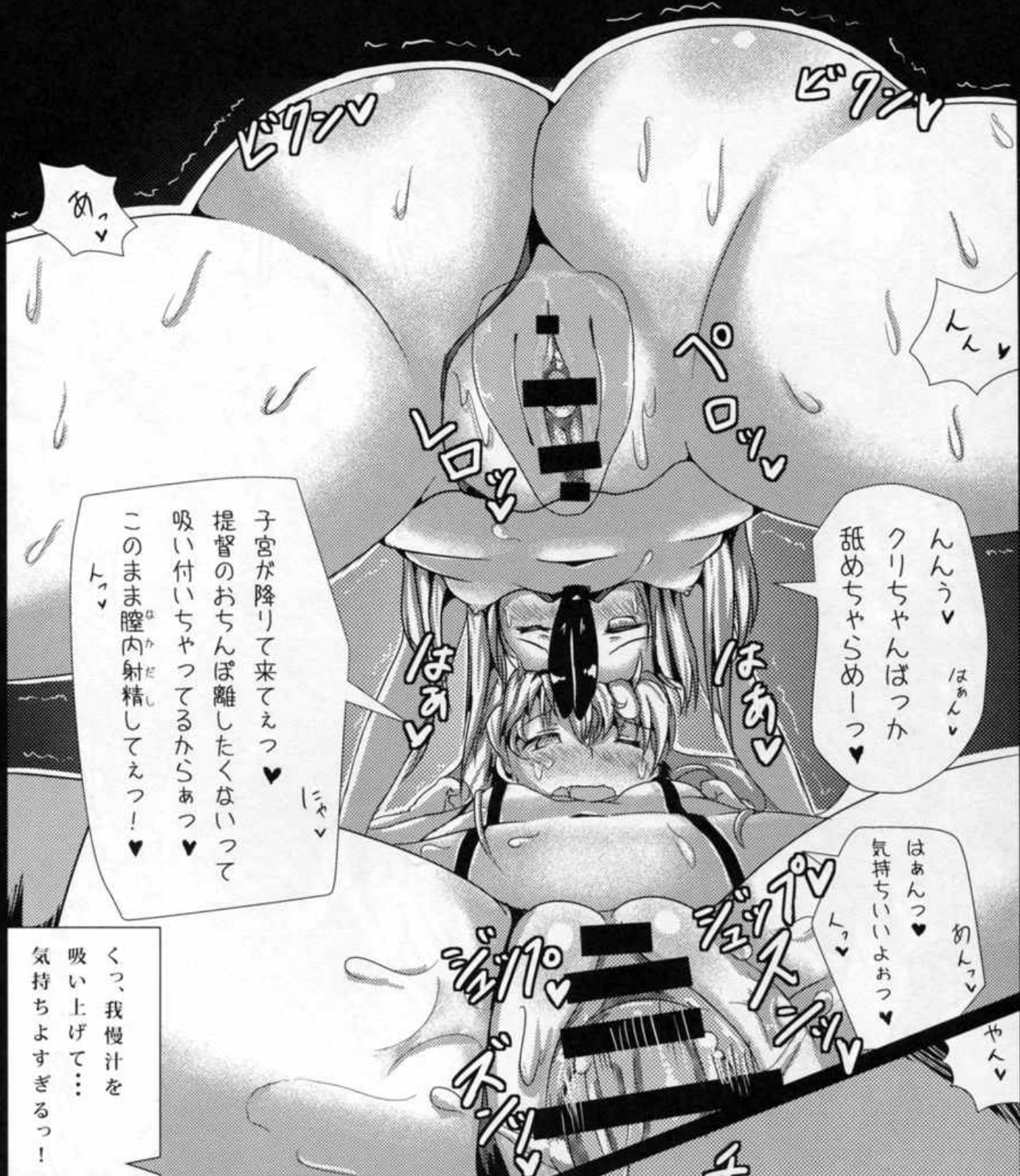
うーっ！  
なんて天津風ちゃんなのっ！



やあああんっ  
提督のえつちい！



舐めたいっ！



子宮が降りて来てえっ♡  
提督のおちゃんぽ離したくないって  
吸い付いちやつてるからあつ♡  
このまま腔内射精してえっ!  
んん

んんう♡ はあん♡  
クリちゃんばつか  
舐めちやらめーっ♡

はあんっ♡ あんっ♡  
気持ちいいよあつ♡

くっ、我慢汁を  
吸い上げて…  
気持ちよすぎるっ!



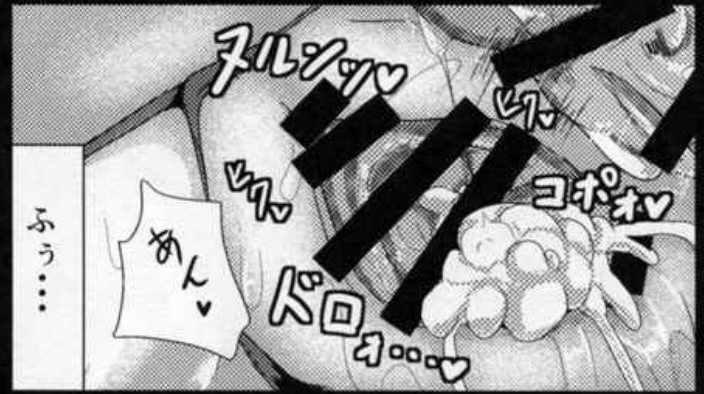
射<sup>だ</sup>精すぞっ!  
うっ



んん







一回も射精したし  
もうやめ

も、もう一回体内に  
射精して

私は...はあ...!まだ一回も  
射精してくれてないから、やめさせない!

わ、私も!  
まだしたい!



じゃあ私たちが  
満足するまで

終わらせないわ!

一回も射精して俺は満足した。  
しかしここは漢を見せよう。  
彼女たちが満足するまで、  
俺の、終わりになき旅が始まった。

島風&天津風 終

瑞鳳

仕事をさせない

提督の鑑

—提督の代わりに  
お仕事しなまや…

ずーいほっ!

ガシッ

なあに…?

仕事する気にもなつた?  
—というか近い!

ああ?

耳舐めちゃうぞオ?

もおろろ!

もう仕事しなくて良いから、  
エッチしようぜ!

ふえっ!?



あーん♡

あーん♡

キョウ♡

ねえ、提督う…♡  
仕事、しようよお…♡



キョウ♡

グワッ♡

興奮してきた！

もうさささ！  
なんか提督、  
発情した犬みたいよ

おっぱいはっかり…  
こんな小さい胸のところが良いのかしら…  
き、気持ちいいんだけどね…♡

ちっぱい最高…。  
いや、違うな。  
瑞鳳のちっぱいが、  
最高なんだ！

おっ♡



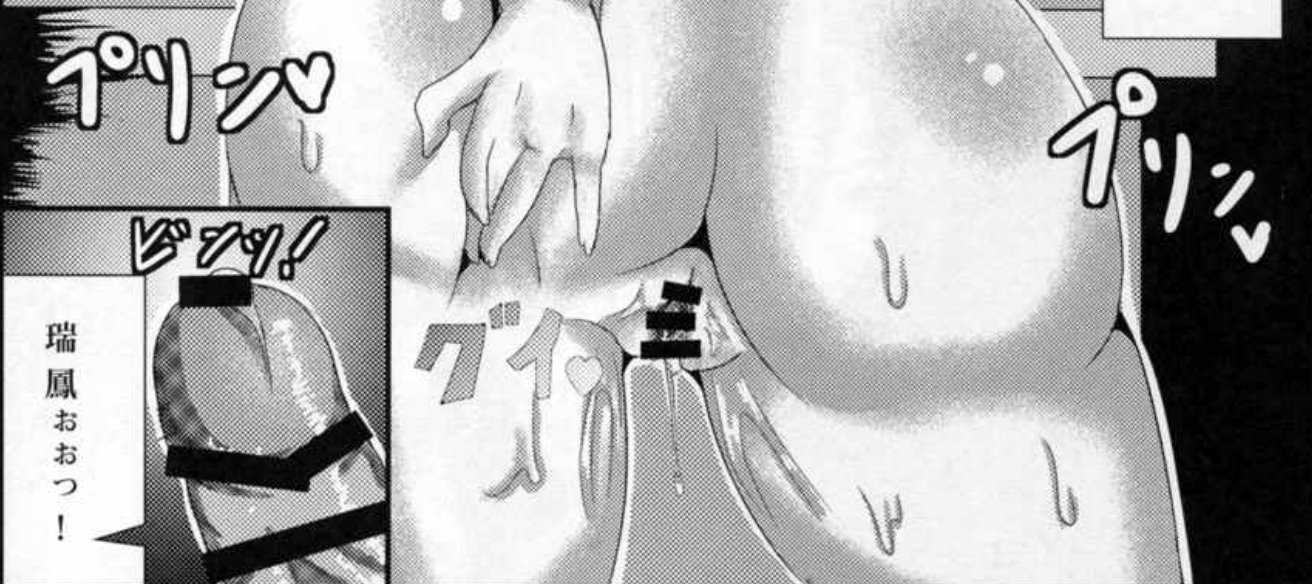
やめてっ!  
そ、その、まだ、  
やることがね?  
あるから...



瑞鳳お!  
仕事と俺、  
どっちが、  
大事なんだあ!



えっ...  
ずい、ほう...?





ううー・あれだけ敏感な乳首  
いじられたら濡れちゃうもんっ  
お仕事 お仕事・

んっ

ぬおお…  
簡単に挿入出来たな…  
キツマンなのに。  
キツマンなのに！

あんまり無反応だと  
泣くぞ！



あっ

ズズ…

クキユ…



んっ

ズググ!



よし、  
仕事はおしまいだ！

ちよつとお！

んっ

あー、ペンも  
何処かへ  
行ってしまった！



ズググ  
ズググ



ふえっ？

はぁ♡

大好きだ瑞鳳！  
愛してる！



グイッ

ぐっ……！  
瑞鳳お！



はぁ♡

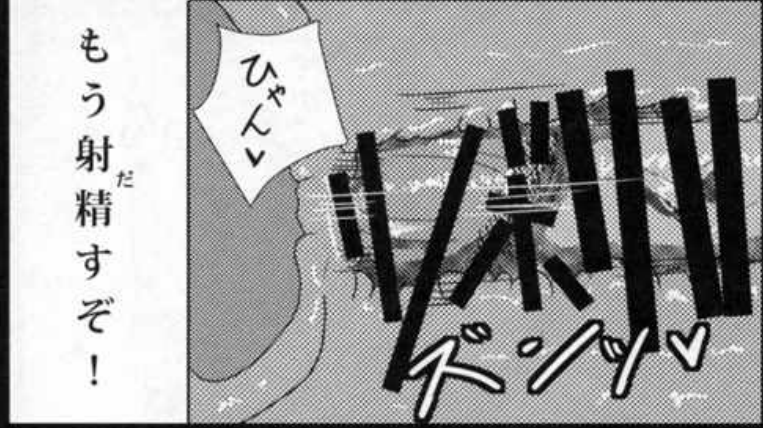
はぁ♡

んあっ♡  
そうやって  
ごまかそうとしてえ♡  
もうっ♡



ツボ♡

ツボ♡



もう射精すぞ！

ひん♡

グッ♡



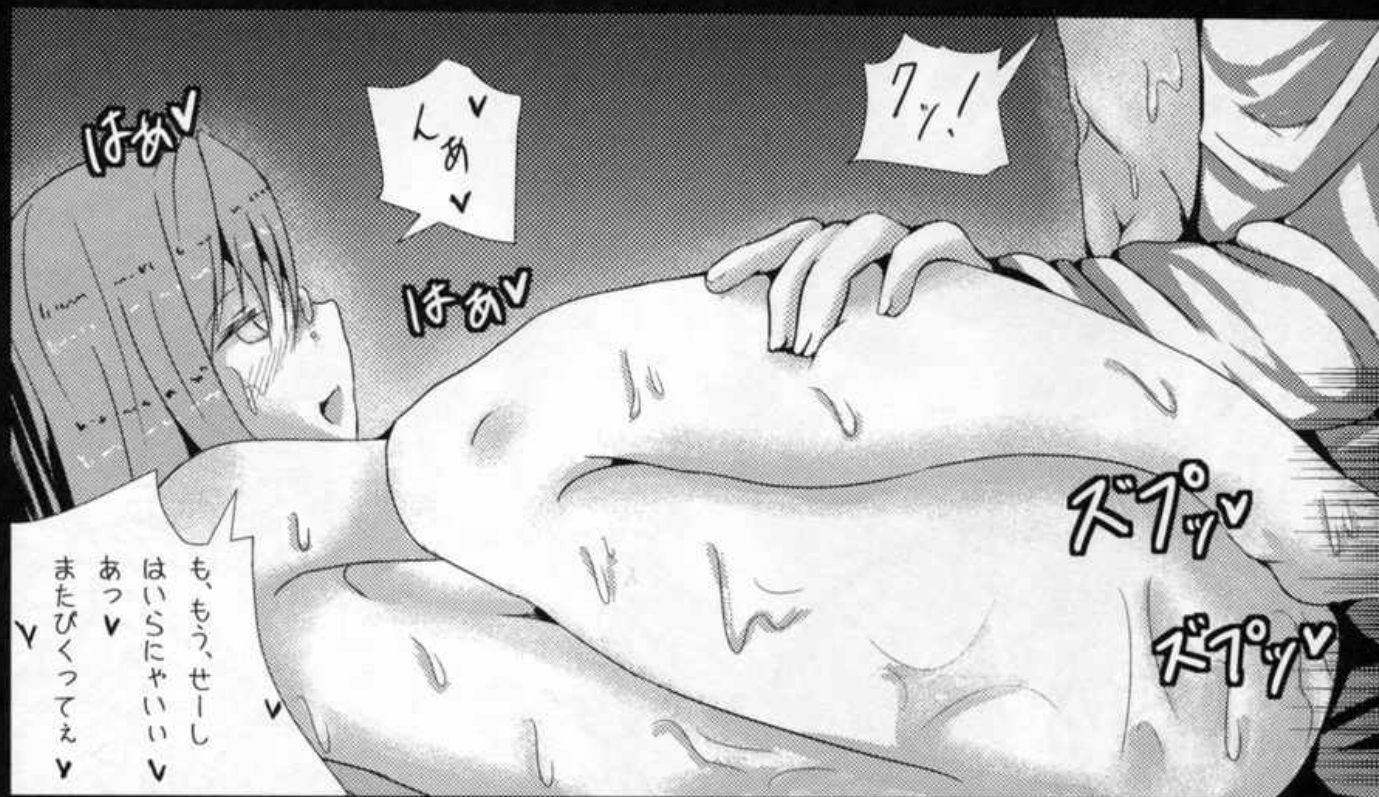
あぁ♡

ツボ♡



まだ…まだ終わらせぬ…

— 数時間後



瑞鳳への愛は、

留まることを知らない。

瑞鳳 終



これで、  
最後だっ！



大鯨

〜マツサージの巻〜

ーんしょ、んしょ。マツサージって  
こんな感じで良いんですか？

ぬっ…  
その調子だ…！

気持ちよおく  
なつてくだないねー♡

あつ♡

にゅるん♡

うぐっ、  
そんな滑り方させたら！  
ぐあつ！

いやあ〜んっ♡

ズ  
ポ♡

んんっ♡

ズ  
ズ♡



俺の息子も、  
手も：



ああっ！大鯨っ！  
スマン！



滑ってしまったんだ！  
仕方なかったんだ！



おんっ



おんっ



射精すぞ！

ねえっ  
ほんっ



ほんっ  
ほんっ  
クッ

だったらあ…  
仕方ないですー





待て、  
たい  
元はといえば、  
提督がマツサージしてくれって言うから  
始めたんですよお？  
おちんぼ袋の中カラにして…いえ、  
カラになつてもお…終わりませんよ？  
ふふふつ

いった後は敏感…って、  
分かってやつてるだろ！  
この変態！あつ、また—



元気ですねえ…提督のおちんぼ  
次はどうやって射精しますか？ていとく？

やめてください  
死んでしまいます  
なんでもします—

射精を繰り返し、  
後半はいった感覚だけで、  
精液は出なかった。  
しかし大鯨はやめてくれない。  
気絶して、目覚めてもまだ—



♡♡♡♡♡

あつっうい

エピソード

「私たちは、  
何をしているのだろうか…」



出撃もせずに、  
毎日情事に明け暮れて。  
理由は分かっている—

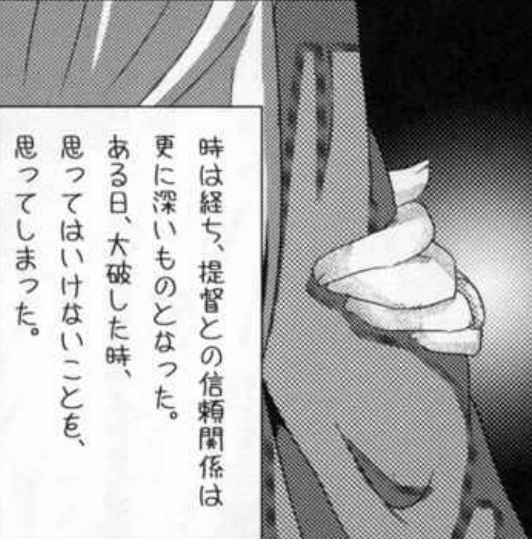


ケツコンカツコカリ、というシステム。  
このシステムが、  
私たちと提督の垣根を無くしてしまった。

最初は強くなって、  
もっともっと、  
活躍したいと思っていた。



”沈みたくないと”



時は経ち、提督との信頼関係は  
更に深いものとなった。  
ある日、大破した時、  
思っではいけないことも、  
思ってしまった。

ギユツ

言っではいけない、  
その気持ちも



—伝えてしまったから、

もう、後戻りが、  
できなくなつた。



でも、今となってはこれで良い。  
こんな淫らな生活でも。  
提督自身もそう思っているはず。  
そして—



それは—



コンコン……

—総司令官殿、  
お話があります

拒否

麻酔のようにな—

いつからか放棄した、  
艦娘としての使命。  
胸を貫く罪悪感、  
この心の痛覚に慣れてしまった。

終



# あとがき

まずはじめに、この本を手にとっていただき、ありがとうございます。

人生初の同人誌となります。  
拙い部分がまだまだあるかと思いますが、  
今僕が出せる力をフルに出したつもりです。

最初のページの日記については、いずれー。

最後にもう一度、ここまで読んでいただいたみなさまにお礼を…  
ほんとうに、ありがとうございましたっ！

☆はるさめすうぷ☆  
PixivID :5366898  
TwitterID:atutoku



●奥付●

発行日 2014年12月29日

発行誌名 Anesthesia

発行者名 あつとく

印刷所 (株)サングループ 様

※未成年者の購入・閲覧禁止※

※無断転載・転用・アップロード禁止※



その調子だ…  
くっ…！







うにゅっ♡

たたまらん♡

ほめ♡

ズボ

ゴリ♡

やあんっ♡

ほめ♡

ビュル♡

すこ〜に勢いで食べてる♡  
へ、変な感じ…♡

おやおおっ!!

ビュル

ビュル



ほめ♡

ビュル

ほめ♡

後はお掃除だ。  
全部吸い出して  
飲むんだ。



いっしょに満足しました♡

ほめ♡

ビュル

ビュル

ほめ♡



ウツ…  
ククク、どうだ？  
おいしいか？

れろ  
…おいひいれふ



よ、よし、  
そろそろいいぞ。  
今日はこの辺にしよう。  
実に良かった。

ふあらい



— そうだ。

ご褒美に、  
次は気持ちよくしてやる。



だんけだんけー

おしまー



いずれこの娘も